

平成 26 年度第 1 回 八戸市虐待等防止対策会議 会議概要

▼ 開催日時・出席者

日 時： 平成 27 年 3 月 20 日（月） 14：30～15：30

場 所： 市庁別館 2 階 会議室 C

出席者： 以下のとおり

【出席者（計 27 名）】

出席委員（13 名）

高橋 育子	安田 真
木村 政樹	黒澤 徹
豊山 信子	小西 秀明
武部 悦子	青木 範子
上條 勝芳	館田 菊子
今川 一	尾形 公一
田頭 初美	

欠席委員（2 名）

天摩 雅和
名久井 修

庁内関係部署職員

石田 福祉部長兼福祉事務所長
長久保 福祉部次長兼福祉・子育て給付金室長
加賀 福祉部次長兼こども家庭課長、こども家庭課職員 1 名
梅内 福祉部次長兼障がい福祉課長、障がい福祉課職員 1 名
長谷川 高齢福祉課長、高齢福祉課 職員 1 名
鈴木 健康増進課長、健康増進課 職員 1 名
正部家 教育指導課長、教育指導課 職員 1 名

事務局

豊川福祉政策課長、壬生主査

▼ 会議内容

■次第

- 1 開会
- 2 委嘱状交付
- 3 市長あいさつ
- 4 委員紹介
- 5 会長及び副会長選任
- 6 議題

案件1：八戸市虐待等防止対策会議について

- ①八戸市虐待等防止対策会議の概要及び運営方針

案件2：各課所管の会議について

- ①八戸市高齢者・障がい者虐待対策ケース会議
- ②八戸市要保護児童対策地域協議会

案件3：(仮称) いじめ問題対策連絡協議会について

- 7 その他
- 8 閉会

■議事の概要

- ・ 市長より、委員13名に委嘱状を交付したのち、会長及び副会長の選出を行い、会長を安田真委員、副会長を武部悦子委員とすることで委員全員の了承を得た。
- ・ 議事では、事務局より対策会議の概要と今後の運営方針について説明し、意見を聴取した。その後、各課所管の会議について、それぞれの担当課から説明し、意見交換を行った。

■案件の内容

案件1：八戸市虐待等防止対策会議について

- 資料1-1～1-2により、対策会議の概要と、会議の運営方針(会議の公開に関する考え方)について事務局が説明し、意見を聴取した。意見の内容は以下のとおり。会議及び会議録については、個人情報を取り扱う案件以外は基本的に公開することとして、委員全員の了承を得た。

<主な質問・意見>

- ・ (委員) 虐待の事例は、こどもから高齢者、障がいのある方など、対象となる範囲が非常に広い。対策会議では、今後どのような方針で虐待のケースに対処していくのか。
⇒ (福祉政策課長) 虐待の個別事例は、各課所管の会議で具体的な対応を検討する。一方、対策会議では、各課所管会議での状況を踏まえながら、虐待等の防止に関する市の施策や事業について検討していく。
- ・ (委員) 虐待の事例は、対処のプロセスが大事。全てのケースを統一した形で対応すべきなのか、ケースによって柔軟に対応するか、判断が難しい。

案件2：各課所管の会議について

- 資料2-1～2-3及び資料3-1～3-3により、関係各課が所管している関連会議について各所管課の担当者が説明し、その後、意見を聴取した。(質問・意見なし)

案件3：(仮称)いじめ問題対策連絡協議会について

- (仮称)いじめ問題対策連絡協議会について、教育指導課から来年度に設置予定である旨の説明があり、その後、意見を聴取した。(資料なし、意見の内容は以下のとおり)

<主な質問・意見>

- ・ (委員) 高校生のいじめについて、市としての対応体制はどうなっているか。
⇒ (教育指導課職員) 県立高校については、県の学校教育課が、私立高校については、県の学事課が対応している。市の窓口相談が寄せられた場合は、しっかりと県の関係課につないでいる。

その他

- 当会議の来年度開催は、年度末に1回を予定。各課所管の会議の状況について報告し、市の施策や事業に対する意見や提言を聴取する。